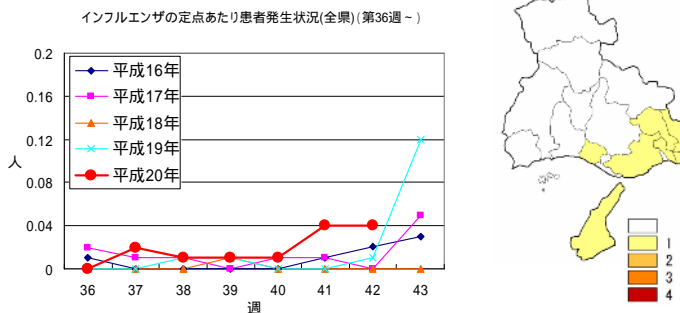


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ情報

第 42 週現在、インフルエンザの定点あたり患者数は 0.04 人でまだ低い水準にあります。県内において既にインフルエンザによる学級閉鎖が報告されています。

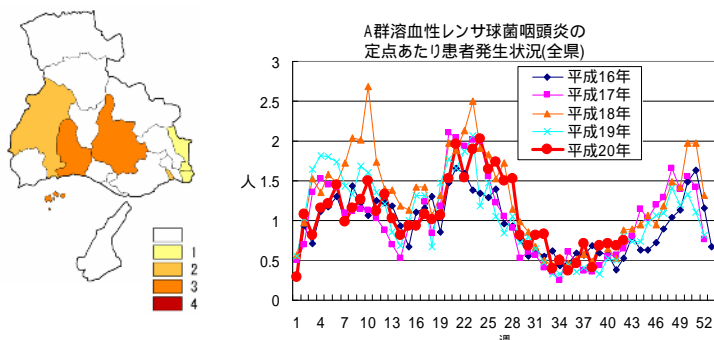
昨シーズンはインフルエンザ流行の立ち上がりが例年よりも早くみられました。インフルエンザは流行が始まると急速に患者数が増加することから、今後の動向に注意が必要です。



定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

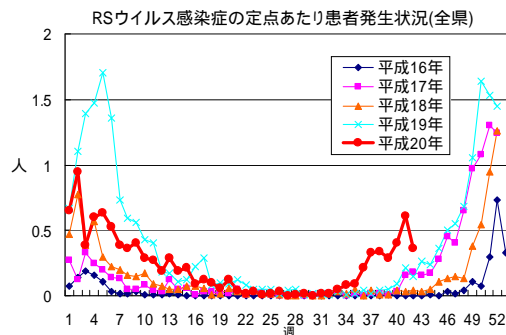
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週、報告数は増加しました。今後、秋から冬にかけて増加する感染症であり注意が必要です。



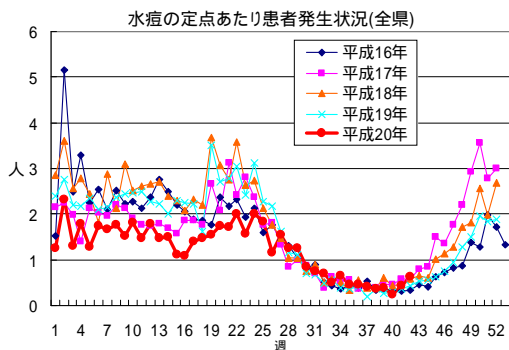
RSウイルス感染症

今週、報告数は減少しましたが、例年よりも報告数が多くなっています。今後の動向に注意が必要です。



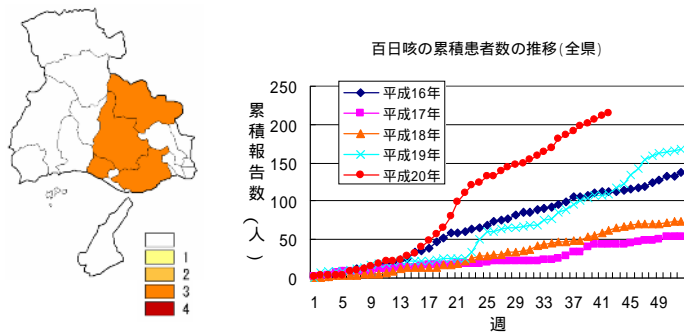
水痘

2 週連続で報告数は増加しました。例年、秋から冬にかけて増加する感染症で今後の増加に注意が必要です。



百日咳

今週、報告数は 4 人でした。累積報告数は過去 5 年間の同時期と比較して最も多い状況です。



定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

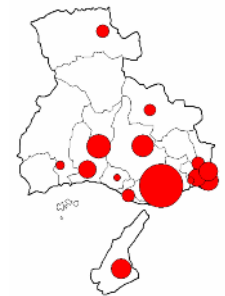
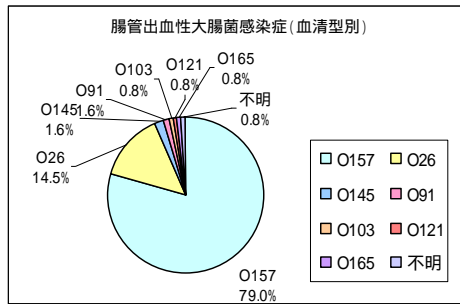
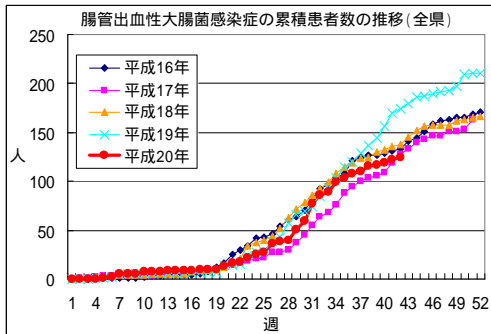
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	3.04	3.58	- 0.54	6位	流行性角結膜炎	0.38	0.50	- 0.12
2位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.75	0.68	+ 0.07	7位	RSウイルス感染症	0.36	0.61	- 0.25
3位	手足口病	0.74	0.86	- 0.12	8位	流行性耳下腺炎	0.32	0.25	+ 0.07
4位	突発性発しん	0.67	0.52	+ 0.15	9位	ヘルパンギーナ	0.11	0.13	- 0.02
5位	水痘	0.64	0.43	+ 0.21	10位	咽頭結膜熱	0.08	0.18	- 0.10

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 16名 （神戸市6名、姫路市2名、西宮市1名、伊丹保健所管内3名、明石保健所管内1名、加古川保健所管内1名、赤穂保健所管内1名、福崎保健所管内1名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 2名 （尼崎市1名；O157 VT1+VT2+、洲本保健所管内1名；O26 VT1+）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	アメーバ赤痢 2名 （神戸市） 後天性免疫不全症候群 1名 （無症候性キャリア）
追加報告	結核 9名 （尼崎市1名；第38週、赤穂保健所管内1名；第40週、洲本保健所管内7名；第34週1名、第38週1名、第40週3名、第41週2名） クロイツフェルト・ヤコブ病（古典型） 1名 （西宮市：第41週）

腸管出血性大腸菌感染症

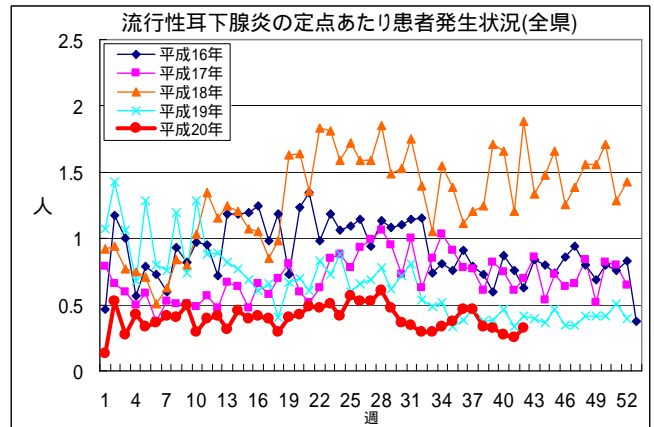
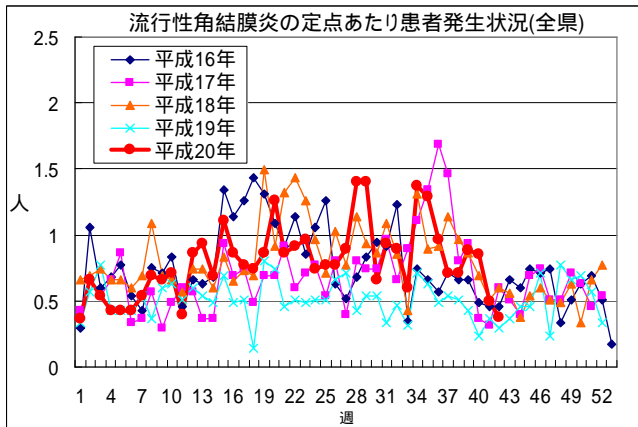
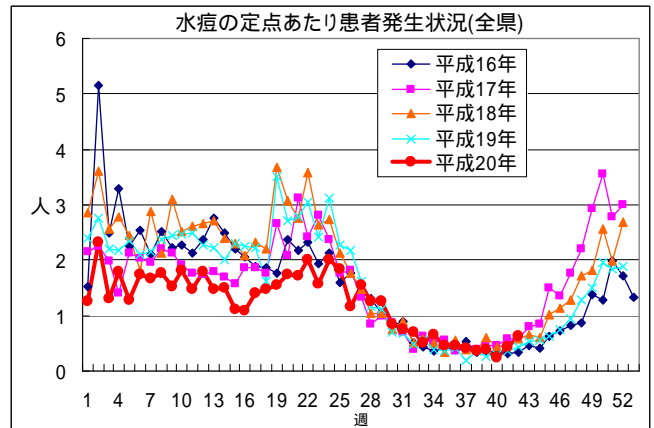
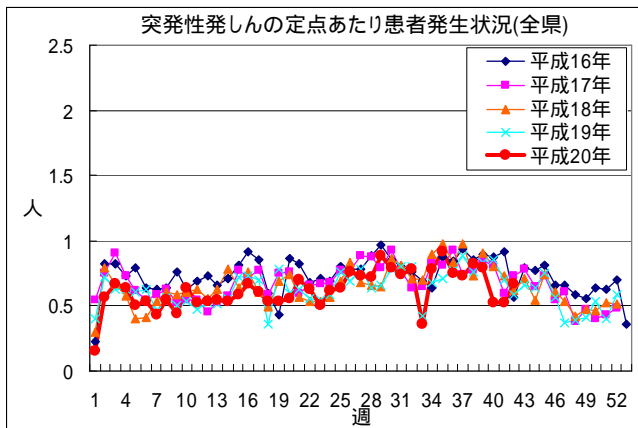
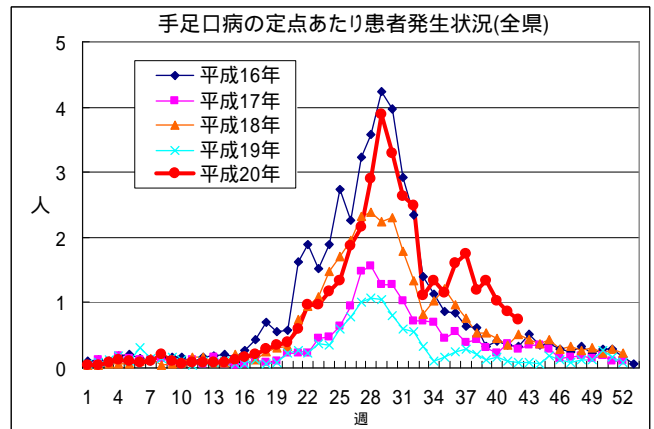
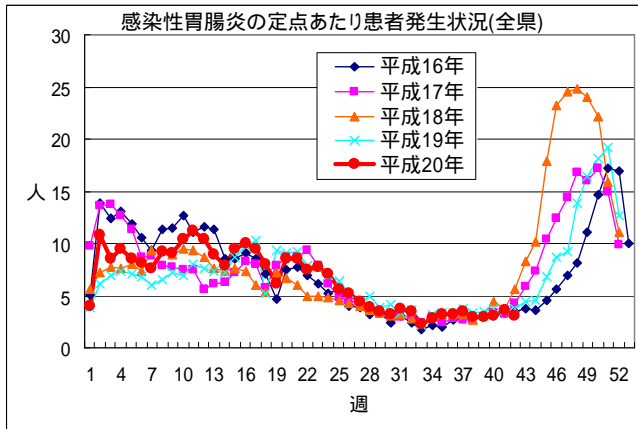
今週、2名の腸管出血性大腸菌感染症の報告があり、第42週現在の累積報告数は124名となっています。血清型別に見ると、O157が79.0%、O26が約14.5%を占めています。生肉や生レバーを推定原因とする感染例が多く見られており、肉やレバーなどの食品はよく加熱する、生食は控える、箸を使い分けるなどの感染予防が大切です。



検査情報（兵庫県立健康環境科学研究所）

宝塚保健所管内から日本紅斑熱疑いで検査依頼のあった血清（急性期と回復期）において日本紅斑熱リケッチア抗体価の上昇が確認されました。通常、県内での感染地域はほぼ淡路地域に限定されていますが、今回の患者は宝塚保健所管内でダニに刺された可能性が高く、淡路地域以外での感染疑いとなりました。

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDWR)がダウンロードできます。